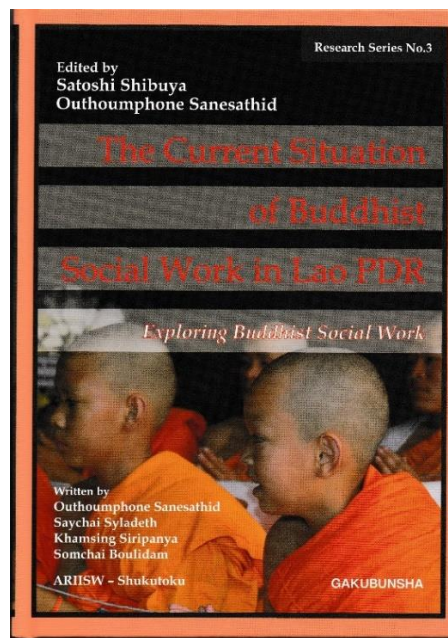


研究シリーズの新たな一冊：ラオス号発刊

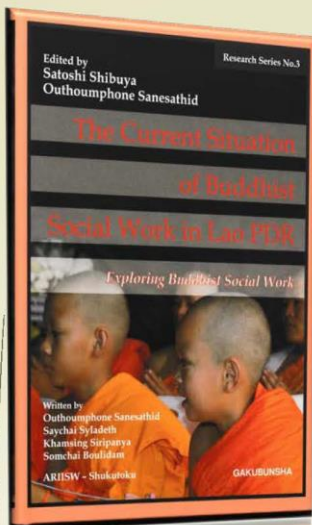
社会の移り変わりに対応するラオスの仏教の「今」の姿



7月19日に『ラオスにおける仏教ソーシャルワークの現状』と題して、研究シリーズ「仏教ソーシャルワークの探求」の3号にあたる図書が出版されました。約2年間の現地での研究活動を終えて、ラオスの人々の日常生活に根付いている仏教実践の姿が浮き彫りになりました。長い伝統をもつラオスの仏教は、現代人の「今」のニーズに応え、新たな活動分野の展開や仏教NGO立ち上げなどと挑戦を続けている。

執筆はOuthoumphone Sanesathid先生をはじめ、国立ラオス大学の先生方が担当しましたが、編集者を渋谷哲先生が務められ、研究プロジェクトが渋谷哲先生を中心に西尾孝司先生、藤森所員と郷堀所員より進められました。

英文に続き、現在、編集中の日本語版も後日発刊される予定です。



仏教ソーシャルワークを探求する
研究シリーズの第3号

ラオスの仏教ソーシャルワークの
現状をとらえた一冊

日常生活の中に根付いている仏教
実践の姿を描き、寺院・僧院・仏
教団体の活動をまとめました。

著者：オウトンフォン、ボウクソ
ン、カムシング、サイチャイ

編者：渋谷哲、オウトンフォン

淑徳大学
アジア国際社会福祉研究所

出版情報

“The Current Situation
of Buddhist Social Work
in Lao PDR”

『ラオスにおける仏教ソーシャル
ワークの現状』



平成30年7月発刊

英文 64頁

お取り寄せ、お問い合わせは:

TEL 043 (265) 9879 FAX 043 (265) 7339

✉ asiainst@soc.shukutoku.ac.jp

〒260-8701 千葉市中央区大巖寺町200

淑徳大学 アジア国際社会福祉研究所

